

かがやき

2016

3

No.252

●さんぶのかがやきファーマー

大網山辺支所管内
高橋 正己さん(41)



2

●特集

今日も一日、生き生きと！
みんなの健康体操



4

●さんぶぐんし エリア Topics

6

●農作業 テクニカルダイアリー

イチゴ・短根ゴボウ



8

●INFORMATION

- ・春の農作業安全月間
- ・ライフアドバイザー紹介
- ・緑の風イベント情報 など

10

●みんなのひろば

- ・クロスワードパズル
- ・おたよりコーナー
- ・健康百科
- ・表紙登場者紹介
- ・つぶやき@かがやき編集部

14

●今月のいただきます!!

ケーキ寿司



16

かがやきの源



訓練生の存在

「何事も丁寧に教えてくれる」と、訓練生から慕われる高橋さん。高橋さんにとって、訓練生一人ひとりが“かけがえのない存在”であり、かがやきの源です。



て、日本酒づくりも継続して取り組みます。
今後について尋ねると、「訓練生にもっともって自信をつけてもらうためにも、事業を拡大し、地域住民と交流する機会を増やしていきたい」と障害者の雇用促進に向け、突き進みます。

さんぶの

かがやきファーマー

大網山辺支所管内

高橋 正己さん(41)



農業と福祉の融合で障害者の自立を支援したい

高橋 正己

高橋正己さんは障害者の入所施設で勤務していた経験から、「農業と福祉を融合させ、障害者の自立を支援しよう」と決意。障害者のための職業訓練施設としてNPO法人ジョブファームを開設しました。法人の代表として、施設に通う訓練生へ農作業を指導し、就労を支援します。
高橋さんは現在、訓練生やスタッフとともに水稲、イチゴなどを栽培しています。特に力を入れているのが、大網白里市生まれのイチゴ「真紅の美鈴」のブランド化です。「新品種の『真紅の美鈴』は市内でも生産している人が少なく、希少な品種。地域活性化のためにも市の特産品にしたい」と意気込みます。また昨年は、他法人との共同企画で酒米「五百万石」を無農薬で栽培、その米を使った日本酒の開発にも挑戦し、商品化に成功しました。「東京オリンピックを観に来た外国人観光客に日本の土産にしてもらいたい」と高橋さん。4年後を見据え